



The 13th East Asia Inclusive Cities Network (EA-ICN) Workshop

# From Fragmented and Fragile Cities to Inclusive Resilient Cities

Dates: August 21 (Wed.) to 23 (Fri.), 2024

Place: Saint Francis University and other locations in Hong Kong

8/21

## Session 1.

Understanding and sharing the current situation of socially vulnerable groups and support policies and practical experiences in each city

## Session 2.

Disaster-Resilient Cities and Resilience

8/22

**Excursions** (Field trip sites are to be determined)

8/23

## Session 3.

How are East Asian Cities addressing their housing issues?

## Session 4.

Urban Network Meeting

### ORGANIZER

The 13th East Asia Inclusive Cities Network (EA-ICN) Workshop Executive Committee

### CO-ORGANIZER

Saint Francis University (Hong Kong), Osaka Metropolitan University Urban Resilience Research Center, ICN-Japan, ICN-Korea, ICN-Taiwan, Seoul Seongdong-gu, National Homeless Facility Association, Institute for Inclusive Urban Development





## 分断都市・脆弱都市から包摂型レジリエント都市へ

### 参加者案内

## 第13回 東アジア包摂都市ネットワーク(EA-ICN)・ワークショップ

主催：第13回東アジア包摂都市ネットワーク・ワークショップ実行委員会

共催：Saint Francis University(Hong Kong)、大阪公立大学都市科学・防災研究センター、ICN-Japan、ICN-Korea、ICN-Taiwan、Seoul Seongdong-gu, National Homeless Facility Association, Institute for Inclusive Urban Development

開催日程：2024年8月21日(水)～23日(金)

開催場所：Saint Francis University

[Saint Francis University - Home \(sfu.edu.hk\)](http://sfu.edu.hk)

及び香港島内各地

### 趣旨

現在、アジア社会では共通して少子化や高齢化が加速し、AIやデジタル化等によるポスト工業社会への再編に伴う大きな経済的・社会的変化を経験している。それに伴い、新しい社会的リスクに直面している。

たとえばある地域ではジェンダー間の格差や貧困の女性化が加速度を増し、またある地域では子どもの貧困やヤングケアラーなど、「ケアの危機」とも称される問題が顕在化している。それに加えて、人口減少に伴う外国人材の受入れによる外国人との共生の課題、不安定就労と低所得であるものが福祉の受給条件と合致しない「新しい生活困難層」と言われるひとり親世帯、低年金高齢者、ひきこもり(805020問題等)、軽度の知的障がい者等が、コロナ禍において困窮の度合いを深めたことが明らかになっている。こうした問題に加え、都市では「限界団地」、「シャッター商店街」、地方では「限界集落」、「消滅都市」と言われる現象が生じ、それに伴うインフラの維持困難等によって大規模災害においても都市の脆弱性が露呈されている。

一方、問題をさらに困難にさせるかのように、多くの東アジアの国や地域で古い社会的リスクが新しい社会的リスクに重なり複雑化している点が指摘されている。

そこで、本ワークショップを通して各地の経験を振り返りながら客観化し比較するための機会を設け、視点を広げながら問題解決に向けた考察を深めていくことで、新たなインクルーシブな都市の形成に導いていくことを期待したい。

### 参加者

都市科学・防災研究センター(UReC)海外センター、包摂都市ネットワークジャパン(ICN-Japan)、ICN-Korea、ICN-Taiwan、関連自治体職員、センター関連研究者、学生、一般市民等

**参加費(案)：1万円(期間中の食費・資料費を含む)**

### 言語

本ワークショップは逐次通訳で実施する。また、オンライン・オフラインのハイブリット形式で実施する。

### 要旨(翻訳済)提出締め切り

※各セッション口頭報告者の他、一般参加者向けのポスターセッションを並行して開催します。

参加申し込みをされた方でポスター発表を希望される方は、2024年6月21日(金)までにスライド1枚に報告内容をまとめ事務局までご提出ください(報告は昼食や休憩時間等を活用して行う予定です)。

### 問合せ先・ポスター提出先

包摂都市ネットワークジャパン(ICN-Japan)事務局

E-mail: [icnjapan2018@gmail.com](mailto:icnjapan2018@gmail.com)

### アウトプット

終了後にアーカイブの意味を兼ねてウェブ公開用の資料集を刊行予定